

重 要

必ず内容を確認して下さい

専門Ⅱ・更新後期研修

研修記録シートの取り扱いについて
～取り扱い方法～
～シートＢＣ手元控え～

※本資料は、研修時に毎回持参することをお勧めします。
※本資料に掲載している当該研修記録シートＢＣの様式に
手元控え（手書き）用として書き留めて下さい。

1 研修記録シートの提出のお願い

本研修は、厚生労働省にて定められた実施要綱及びガイドラインに沿って実施することになっています。また、実施にあたっては、受講者に対して「受講者評価」を行うよう示されており、福岡県では、県主管課と協議の結果、受講者から「研修記録シート」を提出していただくことにより「受講者評価」を行うことになりました。

「研修記録シート」は、研修受講前後を通して、各自の理解度を把握し、研修による学習効果の向上と学習後のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てることを目的として使用します。そして、受講者から提出していただいた「研修記録シート」をもとに、各担当科目講師が、「受講者評価」を行うことになります。

受講者の皆様は、当該研修記録シートを指定期限までに指定の方法で提出いただくようお願いします。

当該研修記録シートが未提出もしくはその内容に不備があった場合には、当該科目未修了となる場合もありますので、ご注意下さい。

2 研修記録シートの様式

(1) 研修記録シートA

「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標と評価(効果)を共有するためのシートです。

ご自身が所属する事業所上司(管理者)にも記入していただきます。ただし、該当する上司(管理者)いない場合には、未記入のままでも提出できます。

「当該研修受講前」と「研修修了3カ月後」の2回に渡って記入する様式となっています。実施団体への提出は、「当該研修受講前」欄に記入後に提出していただくことになります。

なお、「研修修了3カ月後」については実施団体への提出は求めません。ご自身の自己評価用として使用して下さい。

(2) 研修記録シートB

「受講者」が研修の「受講前」「受講直後」「研修修了3カ月後」に記入し、自己評価をするためのシートです。

科目毎にシートがあり、学ぶ内容(修得目標)に沿って自己評価を記入します。

自己評価方法は、4段階方式となっており、①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できるから選択していただくことになります。

当該科目受講前には、「受講前」の自己評価を行い、当該科目受講後には、「受講直後」の自己評価を行い、その結果を実施団体に指定期日、指定方法にて提出していただくことになります。

なお、「研修修了3カ月後」の結果については実施団体への提出は求めません。ご自身の自己評価用として使用して下さい。

(3) 研修記録シートC

「受講者」が当該科目受講後に各テーマに沿って感じた事や考えたことなどを書き留め、今後の学習方針や取り組みの検討時に見返すためのシートです。

各科目で4つのテーマが設定されており、自由記述方式で記入し、その結果を実施団体に指定期日、指定方法にて提出していただくことになります。

記入にあたっては、字数の制約などは設けませんが、全てのテーマを白紙のまま提出や「特になし」「何も学べなかった」といったような表現での提出があった場合には、再提出を求める場合がありますのでご注意下さい。

※真面目に取り組んでいただければ、その内容によって再提出を求めることはありません。

3 研修記録シートAの提出方法

【集合研修受講者】

別刷りの「研修記録シートA」の様式に必要事項を記入し、研修1日目に受付に提出して下さい。
尚、様式は、実施団体のホームページにも掲載しています。パソコンなどにて入力される方は、様式をダウンロードして使用して下さい。

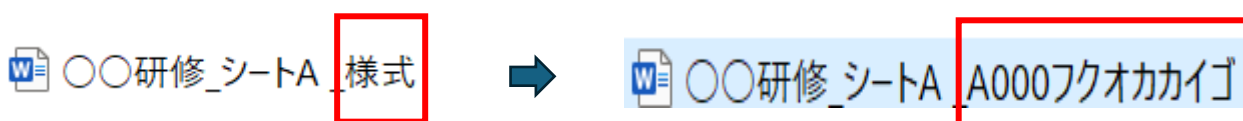
【WEB研修受講者】

以下の手順でWEBから提出して下さい

①「研修記録シートA」の様式(Word)ファイルを実施団体のホームページからダウンロードして下さい。

☛福岡県介護支援専門員協会

②ダウンロードしたファイルの名前を次のように(コース名)(受講番号)(シメイ)に変更して下さい



③様式(Word)に必要事項を入力して、ファイルを保存して下さい。

※管理者記入欄の入力については、「管理者に直接入力してもらう」、「管理者が書面などで記入した内容を受講者が入力する」のどちらの方法でも構いません。

④実施団体のホームページに掲載の専用提出フォームから研修1日目午前9時までに提出して下さい。

実施団体ホームページに専用提出フォームにつながるURLを掲載しています。

☛福岡県介護支援専門員協会

URLをクリックして専用提出フォームを開きます

★コースごとにURLは異なります。お間違いないようご注意ください。

The screenshot shows a web form titled '〇〇〇〇研修 〇コース 研修記録シートA・事前課題 提出フォーム'. It contains two main sections. The first section, '【基本情報】', includes a '受講コース' (Course) dropdown menu and a list of radio buttons for course selection: 'Aコース (WEB開催)', 'Bコース (集合開催)', 'Dコース (WEB開催)', and 'Eコース (集合開催)'. The second section, '【研修記録シートA】の提出', contains instructions to upload the completed form as a Word file and to submit it by 9 AM on the first day. At the bottom, there is a '研修記録シートの添付' (Attach training record sheet) section with a button labeled 'ファイルの選択' (Select file), which is circled in red. Below this button, there is a note about file size and format: 'ファイルが選択されていません(6Mバイトまで) 研修記録シートのファイル (Word) を添付して下さい。無回答のファイル添付はできません。指定ファイルのみ添付して下さい'.

このような
専用フォームが
表示されます

[ファイルの選択]
を押して、
研修記録シートA
をファイル添付します

4 研修記録シートBCの提出方法

【集合研修受講者】【WEB研修受講者】

以下の手順でWEBから提出して下さい

①当該科目受講前に「研修記録シートB」の受講前自己評価(4段階評価)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。

②当該科目受講後に「研修記録シートB」の受講直後自己評価(4段階評価)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。

※本紙を研修の度に持参し、忘れないうちに書き留めておくことをお勧めします。

③当該科目受講後に「研修記録シートC」のテーマ別振り返り(自由記述)を行い、結果を本紙掲載の様式に手元控え(下書き)として残して下さい。

※本紙を研修の度に持参し、忘れないうちに書き留めておくことをお勧めします。

④本紙の各研修記録シートBCに掲載している二次元コードから入力フォームを開き、結果を入力して当該科目受講日の翌開催日の午前9時までに送信します。

ただし、最終日の科目分については最終日翌日の午前9時までに送信して下さい。

※実施団体ホームページにも入力フォームにつながるURLを掲載しています。

→実施団体ホームページからも各研修記録シートBCの入力ができます

※最終日の科目分の研修記録シートBCの提出の確認ができない場合には、研修未修了の取り扱いとしますので、必ず、送信して下さい。

※入力フォームにご自身のメールアドレスを登録することにより入力データの控えが送信されます。

→個人の情報が送信されますので、事業所代表メールアドレス等の登録は可能な限りお控え下さい。

該当科目のURLをクリックして結果入力フォームを開きます

★科目ごとにURLは異なります。お間違いのないようご注意ください。

このような
専用フォームが
表示されます
記録シートの結果を
入力して下さい

ここで登録した
メールアドレスに
控えが送信されます。

すべての結果を入力したら「内容確認画面へ」を押します

03.本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	テスト（見本）
04.その他、この科目で感じたことは何ですか	テスト（見本）
内容確認画面へ	

ここの
「内容確認画面へ」
を押します

入力内容を確認後に

「自分にも送信内容のコピーメールを送る」に

✓を入れます

★ここで✓を入れないとご自身に控えが届きません。

03.本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	テスト（見本）
04.その他、この科目で感じたことは何ですか	テスト（見本）
☐ 自分にも送信内容のコピーメールを送る。 内容に間違いがなければ「送信する」ボタンを押してください。	
前に戻る	送信する

ここの
「自分にも送信内容の
コピーメールを送る」
に✓を入れます

「送信する」を押せば、データ送信が完了します

次のページからは、研修記録シートB Cの手元控え（下書き）用の様式となります。

手順に沿って手元控え（下書き）用として書き残して下さい。

各研修記録シートBC一覧

※結果入力フォーム用URLは、実施団体ホームページに掲載しています

※各様式に掲載している二次元コードからも入力できます

開催日	記録シート	科目名	提出期限
1日目	BC 1	ケアマネジメントの実践における倫理	2日目 午前9時
1日目	BC 2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	2日目 午前9時
2日目	BC 3	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	3日目 午前9時
2日目	BC 4	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	3日目 午前9時
3日目	BC 5	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	4日目 午前9時
3日目	BC 6	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	4日目 午前9時
3日目	BC 7	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	4日目 午前9時
4日目	BC 8	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	5日目 午前9時
4日目	BC 9	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	5日目 午前9時
5日目	BC 10	心疾患のある方のケアマネジメント	6日目翌日 午前9時
5日目	BC 11	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	6日目翌日 午前9時

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	1日目	シート 番号	BC 1	科目名	ケアマネジメントの実践における倫理
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向を踏まえた、実践のあり方の倫理的視点からの見直しを行うことができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を踏まえた、実践のあり方の見直しを行うことができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	介護支援専門員としての倫理原則に基づいた、ケアマネジメントプロセスの実施ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	高齢者の権利を擁護するために活用できる制度、必要な支援内容、サービス等の提案ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8		① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	1日目	シート 番号	B C 2	科目名	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明することができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	地域の社会資源を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	地域包括ケアシステムの構築に向けて地域課題の解決における介護支援専門員が果たすべき役割を具体的に実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	介護保険制度の中での課題解決のために新たな社会資源と関連付けた対応を実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取り組みや課題の解決のために介護支援専門員として具体的な行動を実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8		① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	2日目	シート 番号	BC 3	科目名	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解を踏まえたマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、基本ケアに関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
-------------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	2日目	シート 番号	BC 4	科目名	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な方のケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	関連する他法他制度(難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等)の内容や動向について説明できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例について、事例の特徴や留意点を踏まえたアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え（下書き）用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	3日目	シート 番号	BC 5	科目名	脳血管疾患のある方のケアマネジメント
受講日	20 . .			手元控え（下書き）を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	脳血管疾患がある方のケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源（インフォーマルサービス等）を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア（脳血管疾患）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	3日目	シート 番号	BC 6	科目名	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
受講日	20			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(大腿骨頸部骨折)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	3日目	シート 番号	BC 7	科目名	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	リハビリテーションや福祉用具等に関する関連知識や歯科医師・リハビリテーション専門職・福祉用具専門相談員等との連携方法への応用を実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	リハビリテーションや福祉用具等の地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8		① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	4日目	シート 番号	BC 8	科目名	看取り等における看護サービスの活用に関する事例
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	看護サービスを組み入れた居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例などへの応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	看取り等を含む看護サービスを活用するにあたって各種知識や医師、看護師等との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	看取り等を含む看護サービスの地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7		① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8		① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え（下書き）用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	4 日目	シート 番号	B C 9	科目名	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
受講日	20 . .			手元控え（下書き）を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	認知症等により生活障害がある方のケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源（インフォーマルサービス等）を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、疾患別ケア（認知症）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
-------------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え(下書き)用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	5日目	シート 番号	BC 10	科目名	心疾患のある方のケアマネジメント
受講日	20 . .			手元控え(下書き)を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします	
受講者 番号	コース名				
	下3桁 番号				

シートB		【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる 【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい		
	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	心疾患を有する方のケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、疾患別ケア(心疾患)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC		【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

※本研修記録シートは手元控え（下書き）用です。結果は、二次元コード等からデータ送信して下さい。

日程	5 日目	シート 番号	BC 1 1	科目名	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	
受講日	20 . .			手元控え（下書き）を基に 右記二次元コードを読み取り 結果をデータ送信して下さい。 提出期限は翌開催日の午前9時 です。但し、最終日科目分は 翌日の午前9時までとします		
受講者 番号	コース名					
	下3桁 番号					

シートB	【4段階評価】 ①全くできない ②ほとんどできない ③概ねできる ④できる
	【記入方法】 該当する評価項目番号に✓をして下さい

	評価内容	受講前	受講直後	3カ月後
1	誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関するケースの居宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し評価できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
2	分析し評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや居宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
3	各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
4	地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
5	医療職をはじめとする多職種との連携方法への応用ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
6	地域の社会資源（インフォーマルサービス等）を活用したケアマネジメントを実施できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
7	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	
8	適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、必要な支援内容やサービス等を提案できる。	① ② ③ ④	① ② ③ ④	

シートC	【自由記述】当該科目受講直後に各項目に沿って記述して下さい
-------------	-------------------------------

1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かそうですか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	